



「いじめているきみへ」

春名風花文／みきぐち絵

この本は、女優の春名風花さんが小学校6年生だった2012年に朝日新聞の特集に寄稿し、大反響を巻き起こした「いじめている君へ」を絵本化したものです。巻末には、今いじめられている子どもへ向けたメッセージもついています。(あぶた読書の家所蔵)

# 読書の家から

**あぶた読書の家** (☎ 76-2100)  
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日  
**みずうみ読書の家** (☎ 75-4702)  
[時間] 10時～15時 [休館日] 木曜日、祝日  
**洞爺総合センター図書室** (☎ 82-5111)  
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

## 新刊案内

### ■あぶた読書の家

▲一般▽▽傍流の記者(本城雅人)▽鏡の背面(篠田節子)▽一億円のさようなら(白石一文)▽凍てつく太陽(葉真中顕)▽本と鍵の季節(米澤穂信)▽宝島(真藤順丈)▽ニムロッド(上田岳弘)▽1R1分34秒(町屋良平)▽ふたりぐらし(桜木紫乃)▽キンモクセイ(今野敏)

▲**児童書**▽わたしのクリスマスツリー(佐野洋子)▽いじめているきみへ(春名風香著／みきぐち絵)▽おぼけのマールとたのしいオーケストラ(けーたろう著／なかいれい絵)

### ■みずうみ読書の家

▲一般▽▽かわたれどき(畠中恵)▽そして、バトンは渡された(瀬尾まいこ)▽ベルリンは晴れているか(深緑野分)▽宮部みゆき全一冊(宮部みゆき)▽玉村警部補の巡礼(海堂尊)▽この先には、何がある?(群ようこ)▽さざなみのよる(木皿泉)

### ■洞爺総合センター図書室

▲一般▽▽わたたくしたちの成就(茨木のり子)▽映画で読むシェイクスピア(森祐希子)▽しあわせの理由(グレッグ・イーガン著／山岸真訳)▲**児童書**▽おせんべやけたかな(こがようこ)▽降矢なな絵)▽なでなで(西川季岐)

### 絵本の玉手箱 5月のおはなし会

■日時 ①5月17日(金) 14時～15時30分  
②5月13日(月)・27日(月) 10時～11時30分  
5月16日(木) 13時30分～15時45分  
■場所 ①あぶた読書の家②あぶた母子の館  
■問合せ 佐藤 (☎ 76-2487)  
■ピノキオの会 読み聞かせ  
■日時 5月20日(月) 14時30分～  
■場所 あぶた読書の家  
■問合せ 松本 (☎ 76-2613)

## 地域おこし協力隊

### 通信

1.14

今月のリポーター  
細谷佳代子さん



新しい元号にかわり、今年の8月に8年目の営業を迎えることとなった「洞爺湖地場産品協同組合とうやマルシェ」。名前のとおり、地場に特化した食材が色とりどりで、洞爺湖の「食のアンテナショップ」です。

とうやマルシェといえば店前には赤・黒毛牛肉の看板。今では当たり前のようにおいしく調理し、提供してくれるメニューや加工品のほとんどが8年間の葛藤と試行錯誤の賜物だったのです。

例えば牛1頭の各部位を余すことなく使用し、なおかつおいしく仕上げるには切り方から、部位特有の味付け、保存方法などの大変な苦勞と失敗・ロスがあります。また、洞爺湖名物ワカサギも活きはもちろんのこと、姿や形よくおいしく仕上げるにも匠の技が必須です。お客さんの笑顔が見たい一心で、すべてが始まっている地場産品発信基地なのだと感じました。



今ではスマホ片手に口コミを見たお客さんがたくさん来店します。

5月末までですが「広報とうやこを見た」と言っていた人と(食事された人に限り)財田米150gを1袋差し上げます。ご来店をお待ちしています。